

1983 (毎月1回) 発行

2月号

(村の面積)

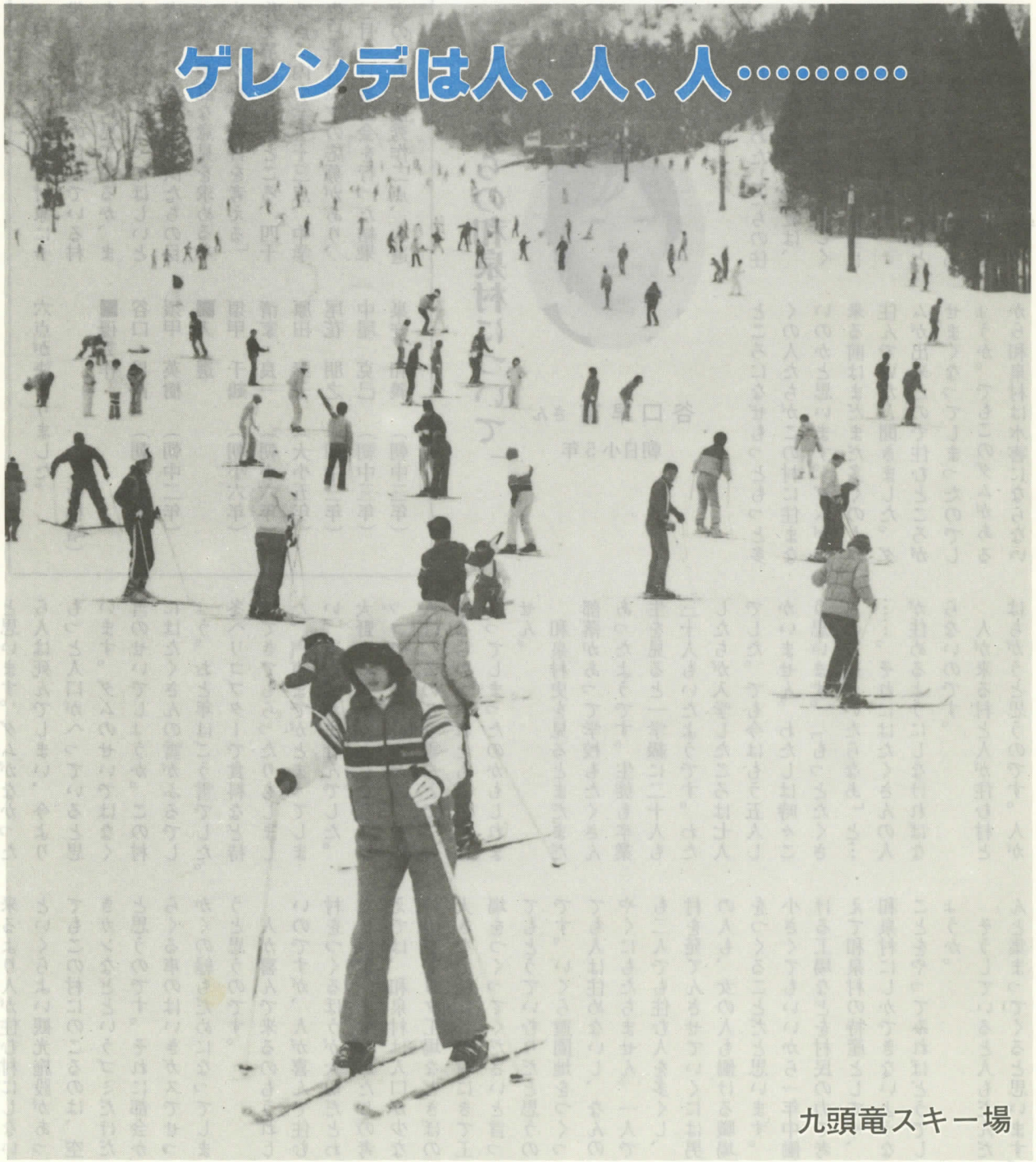
332.60km²

発行所 福井県大野郡和泉村

広報 いづみ

(昭和58年1月1日現在)

村の人口	
総人口	1,386人
男	702人
女	684人
出生	1人
死亡	1人
転入	2人
転出	13人
世帯数	442世帯



ゲレンデは人、人、人……

九頭竜スキー場

みんなで越美北線を利用しよう。

明日を考える」 48点応募

村では小中学生を対象に子供たちが自分の住んでいる村をどのように見ているか、また将来はどうなつてほしいと考えているかを子供たちの目で見えた素直な意見を求めるため「わが村の明日を考える」作文募集をしたところ、四十八点（内小学生十三点、中学生三十五点）の応募があり、二月一日審査会を行った結果次のとおり優秀作二点、入選

■優秀作

谷口 早苗 (朝小五年)
須甲 英樹 (朝中二年)

■入選

須甲 千鶴 (朝小六年)
清家 良一 (朝小六年)
原田 泰子 (大小五年)
尾花 朋之 (朝中三年)
中屋 克己 (朝中三年)
巢守 和義 (朝中三年)

「これからの和泉村について」

〔優秀作品〕



谷口早苗さん
朝日小5年

和泉村は、わたしたちの住んでいるところです。夏は、一面緑につつまれてすずしくて空気はおいしいし、本当によいところだと思います。この村にたらないところと

と、ころになぜもともっと多くの人がこの村に住まうのかと思います。ダムが出来ると聞きました。ダムが出来たので住むところから和泉村は水害にならない

と思います。ダムがなかったら人は死んでしまい、今よりもっと人口が減っていると思います。ダムのせいではなく雪のせいでしょうか。この村にはたくさん雪がふるので、冬はコブタで食料など持ってきてもらったりもしました。汽車までがとまってい、車も通れませんでした。大野などへ行くとしたらトロッコで行けません。村の人は、このごろ雪などで「おそろしい」それとも、いやになつてしまったのかもしれない。

和泉村史を見るとまだまだ部落があつて学校もたくさんあつたようです。生徒も卒業生を見ると一学級に二十人も三十人もいたようです。わたしたちが入学したころは七人でした。でも今はもう五人しかいません。わたしは時々こう思います。「もつとたくさん友達がいたらなあ」と……。それにはたくさん人の人が住めるようにしなければならぬのです。

来るより人が住む村にしないといくらよい観光施設があつてもこの村にのこるのは、空きカンなどというゴミだけだと思ふのです。それに都会からくる車のはいきガスでせつかくの緑もだめになつてしまふと思ふのです。

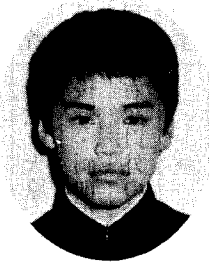
人が喜んで来るのもうれしいのですが、人が喜んで住む村をつくるほうが大切だとわたしは思います。わたしの考えでは、和泉村は人口が少ないのでトヨタ工場などきぼう大きな会社にこの村にきて工場をつくつてくださうと言つてもどうていむりだと思ふのです。いくら遊園地をつくつても人は住めないし、なんのやくにもたちません。一人でも二人でも住む人を多くし、村を元々んさせていくには男の人も、女の人も働ける職場をつくることだと思います。小さくてもいいから一年中働ける工場などを村民の力で考えて和泉村の特産としてや、和泉村にしかできないようなことをやってみればどうでしょう。か。

そうしていると人もだんだんと集まってくると思ふます。

「わが村の 作文募集に

「まだまだ幼い和泉村」

〔優秀作品〕



須甲英樹 くん
朝日中2年

和泉村はどうすれば豊かで大きな村になれるでしょうか。

ぼくは考えました。そして和泉村が豊かで大きな村になるためには、自然をうまく利用して観光に力をいれるしかないと考えつきました。

和泉村は自然でかまわれています。自然の中に人が住んでいるといつてもおかしくありません。山には草や木や花が生え、動物たちが生息しています。川はすみきって魚たちが泳いでいます。また冬には辺り一面の銀世界。春や夏は緑一面になります。秋には赤や茶色の山々と、この和泉村には四季おりおりの美しい自然があります。でもこの自然を遊ばせておくわけにはいきません。それこそ「宝のもちぐされ」というものです。だからこの自然を利用して観

光に力をいれればと思ったのです。

ぼくは、自分が村長になったように具体的に考えてみました。

まずぼくは、山に動物園や植物園のようなものをつくつたらと考えました。それも和泉に住んでいる動物、和泉に生えている植物だけをあつかったほうがいいと思います。なぜならいろんなところから運んで来た動物、植物だと他の動物園、植物園と同じになつてしまうからです。すると人々は、わざわざ山の中へ来るよりも、もつともっと交通の便などが良いほうへ行ってしまうでしょう。北海道のクマ牧場が人気をもちつづけているのは、北海道といえバクマ、そのクマをあつかった牧場ということと人気があるの

でしょう。ですから和泉村も和泉の動物、和泉の植物だけであつかい、それを見た人々の心に残し、他の人に伝わり立派な観光地として成功するでしょう。

次に、山にロープウェーなどを付けるといいと思います。ぼくたちが遠足で鷲鞍岳に登つて頂上から見た朝日、川合ダムの景色は最高でした。だから他の人もきつときれいだと思うにちがいありません。だからこういうこともよいと思います。

またぼくは、一年中とおして使える施設があるといいと思います。先日新聞でスキー場がシーズンオフには、モトクロスやレース会場に使われるのつていました。ぼくはとて面白いことだと思いました。今までぼくの印象では和泉は秋の紅葉、冬のスキーといったような秋と冬だけの観光地しか思つていませんでした。それは大勢の人も思つていると思います。ですからなんとかして一年中楽しめる和泉になるといいなと思いましたが、注意しなければな

らないこともあります。自然はこわれやすいものです。観光客がごみなどを捨てていきついにきたなくなり、自然がこわれてしまうと、自然がこわれてしまうと成り立っている観光地がくずれてしまい、和泉村は貧しい村になるでしょう。ですからこういうことに注意して行えばきつと和泉村は大きくなると思います。

ぼくは、このように考え和泉村はまだまだ発展すると思いましたが、しかし村民は、まだまだ村のことについて無関心だと思えます。ですから村民の村を豊かにしようという心がけと協力が必要だと思えます。開発はその次だと考えました。一人の客を村民みんな歓迎するような村になるといいなと思えました。

この人口千四百人たらずの小さな村和泉。しかしもつともつと自然をいかせば、福井県の中でも有数の、いや全国有数の観光地となるでしょう。でも一番大切なことは、村民全員が真剣に村について考えるということが必要だと思えました。

「税」の申告準備を!

三月十五日は所得税、村県民税の申告期限です。二月十五日から申告の受付をしま

三月十五日は所得税、村県民税の申告期限です。二月十五日から申告の受付をしま

申告書、まだ給与支払報告書を受けとっていない人は事業主に請求してもらってください。

村県民税の説明(受付)会の日程は、別紙のとおりです。申告にあたり、次のことを調べておいてください。

二 所得から差し引かれる各種の控除額

(イ)雑損控除は、昨年中に災害や盗難などで損害を受けたときの証明書または参考となる資料。

一 所得金額

(イ)昨年一年間の業種別の収入金額とそれに伴う必要経費。

(ロ)医療控除は、医療を受けた者の氏名と支払先の領収書または証明書。

(ロ)農業所得は、田畑の耕作反別。

(ハ)社会保険料は支払った掛金(各種年金の掛金、健康保険料、失業保険料など)の全額が控除されます。

(ニ)生命保険料は、保険の種類、契約者、受取人、保険金額、証書の記号番号と支払保険料(一口九千円以上は領収書、または証明書)。

昭和58年度村・県民税説明(受付)日程

月日	曜日	時	間	場所	対象地区
2・22	火	9・00	11・30	下山公民館	下山全地区
2・23	水	9・00	11・30	大納公民館	下・上大納地区
2・23	水	13・00	16・30	中竜支所	中竜・大原・新町地区
2・24	木	9・00	11・30	後野公民館	後野・両前坂
2・25	金	9・00	16・30	役場・和室	右記以外の地区
2・28	月	9・00	16・30	役場・和室	〃
3・1	火	9・00	16・30	役場・和室	〃
3・2	水	9・00	16・30	役場・和室	〃

(ト)申告には必ず印鑑を持参してください。

三 所得税の確定申告及び還付請求も同時に受け付けます。

過去5年間における救急活動状況

事故種別	年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	前年比増減	5ヶ年平均
		交通	10	10	9	8	9	増1
労働災害	出場件数	10	8	12	15	10	減5	11.0
	搬送人員	2	2	5	6	2	減4	3.4
一般負傷	出場件数	1	1	5	8	2	減6	3.5
	搬送人員	7	3	12	11	9	減2	8.4
運動競技	出場件数	5	3	12	10	9	減1	7.8
	搬送人員	0	0	0	1	0	減1	0.2
自損行為	出場件数	0	0	0	1	0	減1	0.2
	搬送人員	0	2	1	0	2	増2	1.0
急病	出場件数	0	1	1	0	2	増2	0.8
	搬送人員	6	14	11	10	8	減2	9.8
その他	出場件数	5	13	12	11	8	減3	9.8
	搬送人員	12	7	6	4	3	減1	6.4
合計	出場件数	11	7	4	5	3	減2	6.0
	搬送人員	37	38	44	40	33	減7	38.4
	出場件数	32	33	46	50	34	減16	39.0
	搬送人員							

昨年の救急状況 34名を搬送

救急統計(和泉分遣所)

昭和五十七年中の村内の救急活動状況は、出場件数三十三件、搬送人員三十四名であり、出場件数は過去五年間で最も少なく昭和五十六年にくらべ七件の減となっています。

事故別出場では、トップが交通事故、一般負傷のそれぞれ九件、ついで急病の八件とつづいています。別表は過去五年間の救急活動の推移です。

おしらせ



国鉄バス回数券にも3割補助

（1月から3月まで）

国鉄バスの利用を増進するため、村では本年も冬期間（一月から三月まで）国鉄バス中竜線利用の方に対して回数券購入費の三割を補助いたします。

昭和57年度 和泉村職員採用試験を 2月25日に実施

- 職 種
一般行政事務
- 採用予定人員
一 名
- 受験資格
学歴を問わず、男子は昭和二十八年四月二日から昭和四十年四月一日までに、女子は昭和三十三年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた者。
- 採用予定日
昭和五十八年四月一日

は総務課へ提出してください。その場で補助金を交付します。

第24回新春囲碁大会を開催

新春恒例の囲碁大会（中央公民館主催）が一月九日、グリーンセンター和室で開催されました。

大会は、参加者十四名による総当り戦が始まり、長時間にわたり全神経を基盤に集中して、白黒つけた結果は次のとおりです。

- 優勝 小野寺正一郎（朝日）
- 次勝 宮原 公夫（朝日）
- 三位 中屋 稔（朝日）

■試験の日時
昭和五十八年二月二十五日（金）午前九時

■試験の場所
役場三階 議場

■受付期間
昭和五十八年二月七日から昭和五十八年二月二十三日までとする。（平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は午前八時三十分から正午までとします）



むかしむかし、前坂谷の棚倉という所に、西坂という木地屋が住んでいた。この棚倉は、その山際がものすごい絶壁であり、どこからともなくコーン、コーンと大きな木を切り倒す音がするという。

いづみ むかしばなし その⑤ 天狗のいたずら

ある日、仕事をしていると上の方からいつもの音がするので、

（また、天狗が木を切っているぞ）
と思っていたら、やがて、ザーツ、ザーツ、ドスンと木の倒れる音がする。それが、向い側の角野前坂の高い御飯松の山まで続いていった。
（天狗が走るぞ）
と思っていたが、いつまでもやっけているので、ついしやくにさわり、

「天狗よ、いいかげんにしろ！」と、大声でどなったら、ピタリと木を切る音は止まってしまった。ほっと、気を取りなおして一生懸命山で仕事にはげみ、夕方、ようやく家にもどったところ、家が焼けて、なくなっていた。しかたがないので、もう一度、家をつくって暮らしていたけれど、また山で仕事をしていると、いつもの音がするので、
「天狗のやろう。やめろ。」

といたら、今度も家が焼けてなくなっていた。

そこで、
（あの天狗は、悪口をいうとあたんこ（ふくしゅう）をするので、こんなところでは、もう暮らせん）
と思つて、とうとう、よそへ引っ越してしまった。
山では、天狗の悪口は、いわんぼうがいい。
村教委発行の「ふるさと和泉」による。

俳句・短歌コーナー

俳句

お年玉孫にとどける下駄ばきで

天狗岩

短歌

静かなりつるべ落しの日は沈み

草木も眠る春芽いだきて

水蓮

紅白のうた静まりて除夜の鐘

幾千代めぐる初日あけゆく

水蓮

ずっしりと重いほどにも年取りて

動きもにぶくやつこらせのせ

千代子

親子ほど年の差あれど愛されて

筆持つ楽しさ老いも忘れて

千代子

一年は現の巷に去り行くも

又めぐり来る春を賛えん

湖水

危ぶめる母の手拒み二つ子は

風の如くに走り廻れり

とみ子



国民年金保険料は所得から控除されます

定額保険料(年額60,480円)	
57年1月～3月	月額 4,500円
57年4月～12月	月額 5,220円
付加保険料(年額 4,800円)	
57年1月～12月	月額 400円

昭和五十七年中に支払った国民年金の保険料は、自分の分はもちろん、家族のために支払った保険料も「社会保険料控除」となって前年の所得から差し引かれて課税の対象にはなりません。

そこで、所得税の確定申告の際には、国民年金保険料の控除の手続きをしてください。

たいせつな その① 乳児期の栄養

栄養は、わたしたちの健康をささえるもとですから、一生をとおしてたいせつなもの。とくに乳児期は、つぎのような特徴がありますので、栄養のとりかたにはおとな以上に気をつかわなければなりません。

乳児期は、一生のうちでいちばん発育が早い時期ですから、たくさんの栄養が必要で、しかし、これを消化吸収して体の発育に役立たせる胃腸や肝臓、腎臓などの内臓のはたらきが十分でないために、いちどにあまり多くの栄養をとりすぎると、処理しきれなくなつて、内臓の負担になることがすくなくありません。

たとえば、塩分やタン白質が多すぎると、腎臓はその力が

人のうごき

12月届出分

赤ちゃん誕生(敬称略)

名前 保護者 続柄 住所
林 洋平 治成 長男 板倉



洋平くん

死亡

名前 年齢 住所
米倉與太郎 七十七歳 後野

